



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月18日

上場会社名 **リコーリース株式会社** 上場取引所 東
 コード番号 8566 URL <http://www.r-lease.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 松石 秀隆
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 長田 泰賢 TEL 03-6204-0608
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切り捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	64,431	6.4	3,877	△3.2	3,900	△2.7	2,470	0.9
26年3月期第1四半期	60,538	2.4	4,005	0.4	4,008	0.6	2,448	2.2

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 2,476百万円 (△1.3%) 26年3月期第1四半期 2,509百万円 (5.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	79.14	—
26年3月期第1四半期	78.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	783,977	128,922	16.4	4,116.27
26年3月期	784,969	127,179	16.1	4,060.90

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 128,497百万円 26年3月期 126,768百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	21.50	—	23.50	45.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	22.50	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	255,000	3.7	16,400	2.1	16,200	2.0	10,000	4.7	320.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	31,243,223株	26年3月期	31,243,223株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	26,300株	26年3月期	26,333株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	31,216,915株	26年3月期1Q	31,217,109株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の監査手続に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(第1四半期連結累計期間の連結経営成績)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	増減	
			金額	伸率(%)
売上高(百万円)	60,538	64,431	3,892	6.4
営業利益(百万円)	4,005	3,877	△128	△3.2
経常利益(百万円)	4,008	3,900	△107	△2.7
四半期純利益(百万円)	2,448	2,470	22	0.9
1株当たり四半期純利益	78円43銭	79円14銭	71銭	—
(取扱高)				
リース・割賦事業(百万円)	74,497	77,037	2,540	3.4
金融サービス事業(百万円)	5,053	5,523	469	9.3
取扱高合計(百万円)	79,551	82,560	3,009	3.8

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成26年4月に実施された消費税率引き上げの影響により、国内景気および消費動向が下押しされる結果となりました。リース業界においては、平成26年5月累計のリース取扱高が、前年同期比25.1%減少の6,178億円となりました。(公益社団法人リース事業協会統計)

一方で、平成26年6月の日銀短観においては現状の景況感は悪化を示したものの、平成26年度の設備投資計画(全規模・全産業)は3月調査内容から6.5%上方修正されるなど、設備投資面において先行きに明るさも出て来ました。

このような経済環境の中、当社グループにおいては、新3ヵ年中期経営計画(中計)をスタートさせ、ベンダー営業を軸として優良な契約獲得の増大を図りました。事務用・情報関連機器の更新需要の継続的な取り込みをはじめ、新規分野の開拓を継続し、総取扱高は前年同期比3.8%増加の825億円となりました。

その結果、売上高は前年同期比6.4%増加し644億円となりました。貸倒費用は低位ながら連増傾向が見られ、営業利益は前年同期比3.2%減少し38億円となりました。四半期純利益は復興特別法人税が廃止されたことで、前年同期比0.9%増加し24億円となりました。

	売上高(百万円)			セグメント利益(百万円)			営業資産(百万円)		
	前四半期 累計	当四半期 累計	増減	前四半期 累計	当四半期 累計	増減	前期末	当四半期 末	増減
リース・割賦	58,861	62,543	3,682	3,609	3,461	△147	563,262	562,898	△364
金融サービス	1,268	1,401	133	557	629	71	99,312	100,178	865
報告セグメント計	60,129	63,944	3,815	4,166	4,091	△75	662,575	663,077	501
その他	409	486	77	68	56	△12	10,635	9,688	△946
合計	60,538	64,431	3,892	4,235	4,147	△87	673,210	672,765	△445

【リース・割賦】

リース・割賦事業においては、消費税増税後の反動減等があったものの、パソコンの更新需要の継続的な獲得および「土木建設機械」や「太陽光発電設備」等の環境関連機器を扱う新規分野が伸長したことで、取扱高は770億円と前年同期比3.4%増加しました。営業資産残高は前期末並みの5,628億円となりました。

リース・割賦事業の売上高は前年同期比6.3%増加し625億円となりました。セグメント利益は貸倒費用の増加により前年同期比4.1%減少し、34億円となりました。

【金融サービス】

金融サービス事業は、法人融資が増加し、取扱高が前年同期比9.3%増加の55億円となりました。営業資産残高は、前期末から8億円増加し1,000億円を超えました。また、注力している集金代行サービスの月間取り扱い件数が堅調に増加したことから、売上高は前年同期比10.5%増加し14億円となりました。セグメント利益は前年同期比12.9%増加し6億円となりました。

【その他】

その他の事業は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、及びリコーグループ会社への融資・ファクタリング取引等が含まれています。売上高は前年同期比18.8%増加の4億円、セグメント利益は前年同期比12百万円減少し56百万円となりました。

また、その他の事業の営業資産残高は、前期末比9億円減少し、96億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

	前連結会計年度末 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (平成26年6月30日)	増減	
			金額	伸率(%)
総資産(百万円)	784,969	783,977	△992	△0.1
*営業資産(百万円)	673,210	672,765	△445	△0.1
営業資産以外(百万円)	111,758	111,211	△547	△0.5
純資産(百万円)	127,179	128,922	1,742	1.4
自己資本比率(%)	16.1	16.4	0.3ポイント	

*営業資産には報告セグメントの営業資産に加え、その他事業の営業資産を含めております。

【総資産】

総資産は、前期末に比べ営業資産で4億円、現金及び預金の減少など営業資産以外で5億円減少し7,839億円となりました。

【純資産】

純資産は当四半期純利益による24億円の増加と、剰余金の期末配当7億円による減少等で、前期末比17億円増加し、1,289億円となりました。自己資本比率は前期末の16.1%から0.3ポイントプラスの16.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期連結累計期間の連結業績は順調に推移しており、平成26年4月25日に公表した平成27年3月期連結業績予想は修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,553	3,187
受取手形及び売掛金	20	25
割賦債権	65,840	65,722
未収賃貸債権	31,460	32,895
リース債権及びリース投資資産	489,671	487,879
営業貸付金	109,947	109,866
その他の営業貸付債権	39,858	43,193
その他の営業資産	8,049	7,820
賃貸料等未収入金	6,898	6,701
その他の流動資産	12,606	14,873
貸倒引当金	△9,381	△9,185
流動資産合計	765,526	762,980
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産	12,132	13,700
社用資産	496	461
有形固定資産合計	12,629	14,161
無形固定資産		
賃貸資産	188	164
その他の無形固定資産	1,799	1,773
無形固定資産合計	1,987	1,937
投資その他の資産		
投資有価証券	1,605	1,705
破産更生債権等	1,800	1,843
その他	2,010	1,952
貸倒引当金	△589	△604
投資その他の資産合計	4,826	4,896
固定資産合計	19,443	20,996
資産合計	784,969	783,977

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,535	14,996
短期借入金	127,944	127,574
1年内償還予定の社債	35,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	75,059	78,049
コマーシャル・ペーパー	18,000	64,000
未払法人税等	3,568	1,674
割賦未実現利益	4,569	4,568
賞与引当金	715	456
役員賞与引当金	23	—
その他の流動負債	38,395	40,840
流動負債合計	335,812	352,160
固定負債		
社債	80,000	60,000
長期借入金	237,647	238,710
退職給付に係る負債	1,242	993
その他の固定負債	3,088	3,190
固定負債合計	321,977	302,894
負債合計	657,789	655,054
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,896	7,896
資本剰余金	10,160	10,160
利益剰余金	108,767	110,504
自己株式	△47	△47
株主資本合計	126,777	128,515
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	355	394
退職給付に係る調整累計額	△364	△411
その他の包括利益累計額合計	△9	△17
少数株主持分	411	425
純資産合計	127,179	128,922
負債純資産合計	784,969	783,977

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	60,538	64,431
売上原価	53,440	57,145
売上総利益	7,098	7,285
販売費及び一般管理費	3,093	3,408
営業利益	4,005	3,877
営業外収益		
受取配当金	1	2
その他の営業外収益	6	25
営業外収益合計	8	27
営業外費用		
支払利息	4	3
その他の営業外費用	0	0
営業外費用合計	5	4
経常利益	4,008	3,900
税金等調整前四半期純利益	4,008	3,900
法人税、住民税及び事業税	1,692	1,446
法人税等調整額	△154	△30
法人税等合計	1,537	1,415
少数株主損益調整前四半期純利益	2,470	2,484
少数株主利益	21	13
四半期純利益	2,448	2,470

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,470	2,484
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39	39
退職給付に係る調整額	—	△47
その他の包括利益合計	39	△8
四半期包括利益	2,509	2,476
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,487	2,462
少数株主に係る四半期包括利益	22	14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	リース・割賦	金融サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	58,861	1,268	60,129	409	60,538
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	58,861	1,268	60,129	409	60,538
セグメント利益	3,609	557	4,166	68	4,235

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、リコーグループ会社への融資、リコーグループのファクタリング等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,166
「その他」の区分の利益	68
全社費用(注)	△230
四半期連結損益計算書の営業利益	4,005

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	リース・割賦	金融サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	62,543	1,401	63,944	486	64,431
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	62,543	1,401	63,944	486	64,431
セグメント利益	3,461	629	4,091	56	4,147

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、リコーグループ会社への融資、リコーグループのファクタリング等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,091
「その他」の区分の利益	56
全社費用(注)	△270
四半期連結損益計算書の営業利益	3,877

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。